



完成間近の駿河台キャンパス



重厚な威容を現した茗荷谷法学部キャンパス



伊勢駅伝で6区区間新の吉居大和選手

そして今年、ホームカミングデーに「惜別の歌」口上の名調子が蘇る

第31回ホームカミングデー実行委員長 **山本 卓**
(学員会副会長)



「ただいまお送りしております、この『惜別の歌』はわたくし達中央大学に学ぶ学生にとりましては、『蛍の光』に代わる歌とされ…。島崎藤村『若菜集』収録の「高樓」を原詩とする学生歌『惜別の歌』。その口上(語り)に初めて接した衝撃を忘れてはいない。

創立4年目の高校に入学したのには訳があった。職員室での進路指導。担任の予想は無論、柔道の私立強豪校への進学だった。ただ数日前に隣県私立強豪校からの特待生入学勧誘の場で嗅ぎ取った、監督の醸し出す商業主義の臭いに嫌悪感を抱き、これを辞退。私立高の思惑に嫌気が差し、公立高伝統校が意中、と担任に明かした。

すると、たちまちにして学年担任団に取り囲まれ、口々に「オマエが伝統校に入ったら、伝統に潰される」「むしろ新設校で歴史を創る側に回れ」などと説得され、言われるが儘、創立4年目の公立高校への入学を決めた。

そして新設高での学生生活を終えて後、前年に創立100周年を迎えていた中央大学に拾って貰った。入学式での式辞を聴きながら頭を過ぎったのが、中学時代の恩師の言葉「オマエが伝統校に入ったら、伝統に潰される」。

然れども敢えて飛び込んだのが、中大で最も伝統あるサークルの弁論部「辞達学会」。のるかそるか、中大の歴史や伝統に真正面から挑んだ

形だ。90有余年の歴史を誇る辞達学会。潰されようが、潰されまいが、只のめり込んだ。中でも伝統を直に肌で感じる、その極みが宴会最後に老若男女で朗唱する校歌や会歌。そして締めには必ず「惜別の歌」。

会場の明かりを少し暗くして、それを合図に人が輪になる。自ずと肩を組み、人の輪の結束を確認し合う。誰ともなくハミングが口ずさまれ、メロディーとなる。すると語りを許された者だけが輪の中心に立って「口上」が始まる。「ただいまお送りしております、この『惜別の歌』はわたくし達中央大学に学ぶ…」。

そして今年、ホームカミングデーに「惜別の歌」口上の名調子が蘇る。

ホームカミングデー

今年は

オンラインで
楽しもう!!

今年のホームカミングデーは、11月27日に新型コロナ防止対策のためオンラインで行います。様々な企画が予定されていますので、番組表を参考に自由に視聴してください。なお、当日の内容及び配信時間については、変更となることがあります。最新の情報は、ホームカミングデー特設サイトでご確認ください。

番組表

【MC】中倉隆道(元NHKアナ・平14理工院修了)／成實陽菜(第2回学生アナウンス大賞グランプリ・総合政策学部3年)

時刻	タイトル
10:30	大学祝典曲「栄光への道」(文化連盟音楽研究会マンドリン倶楽部)／開会宣言(清川昭運営委員長)
10:41	主催者・協賛者挨拶(大村雅彦理事長、河合久学長、久野修慈学員会会長)
10:50	大学紹介動画「知の二大拠点から新時代の実学教育へ～中央大学の展開～」
10:55	親子三代表彰
11:05	大学施設紹介動画「法学部 新キャンパスでの学び～2023年多摩から茗荷谷(文京区)へ～」
11:13	第1回学員薫風賞授賞式(岡澤セオン選手・篠田吉央OHKアナウンサー)
11:30	大学施設紹介動画「2023年春、駿河台キャンパス開校～ロースクール、ビジネススクールの展開～」
11:38	学生生活紹介動画「I am Chuo #1」
11:40	卒業50周年企画「島崎藤村生誕150周年!『惜別の歌』が中大生の心震わせた時代」
12:10	大村雅彦理事長講義「中央大学と国際貢献～カンボジア法制度整備支援を中心として」
12:38	学生生活紹介動画「I am Chuo #2」
12:40	北野大明治大学校友会会長と久野修慈学員会会長の特別対談「一緒に神田を元気に」
13:10	海外支部を結ぶ第4回白門オンライン・ミーティングwith国際センター
13:37	学生生活紹介動画「CHUO 8 STORIESダイジェストムービー」
13:40	「被災地ボランティアに注いだ青春!その軌跡」と秋葉賢也復興大臣のメッセージ
14:10	河合久学長講義「私の会計観」
14:38	学生生活紹介動画「I am Chuo #3」
14:40	卒業25周年企画講演「メタバースとは何か」(岡嶋裕史国際情報学部教授/総合政策学部1997年卒業)
15:07	「メタバース」の入り口で!バーチャルツールを使った卒業25年目の懇親会
15:10	体育連盟自動車部がeスポーツで連覇!「スポーツライビング・シミュレーターの世界」
15:28	学生生活紹介動画「I am Chuo #4」
15:30	第6回白門駅伝オンライン/表彰式(藤原正和駅伝監督ゲスト講評)
15:50	閉会挨拶(山本卓実行委員長)／応援部「校歌」「応援歌」
16:20	「キミハルシネマ」多摩キャンパスがロケ地の長編映画『MOON and GOLDFISH』オンライン特別試写(65分)

体育連盟OB・OG(一部学生)から学生へのメッセージ動画

・江村美咲(フェンシング)・上野優佳(フェンシング/4年)・塩浦慎理(水泳)
・五島莉乃(女子陸上)・ヘンプヒル恵(女子陸上)・岡澤セオン(ボクシング)〈以上予定/敬称略〉

アーカイブ・コンテンツ(案)

学生活動紹介	体育連盟所属部の動画(特設サイトから学員体育会WEBへリンク)
学生活動紹介	文化連盟所属部・白門祭企画の動画
支部活動紹介	学員会支部の活動報告(特設サイトから『学員時報オンライン』Webページへリンク)

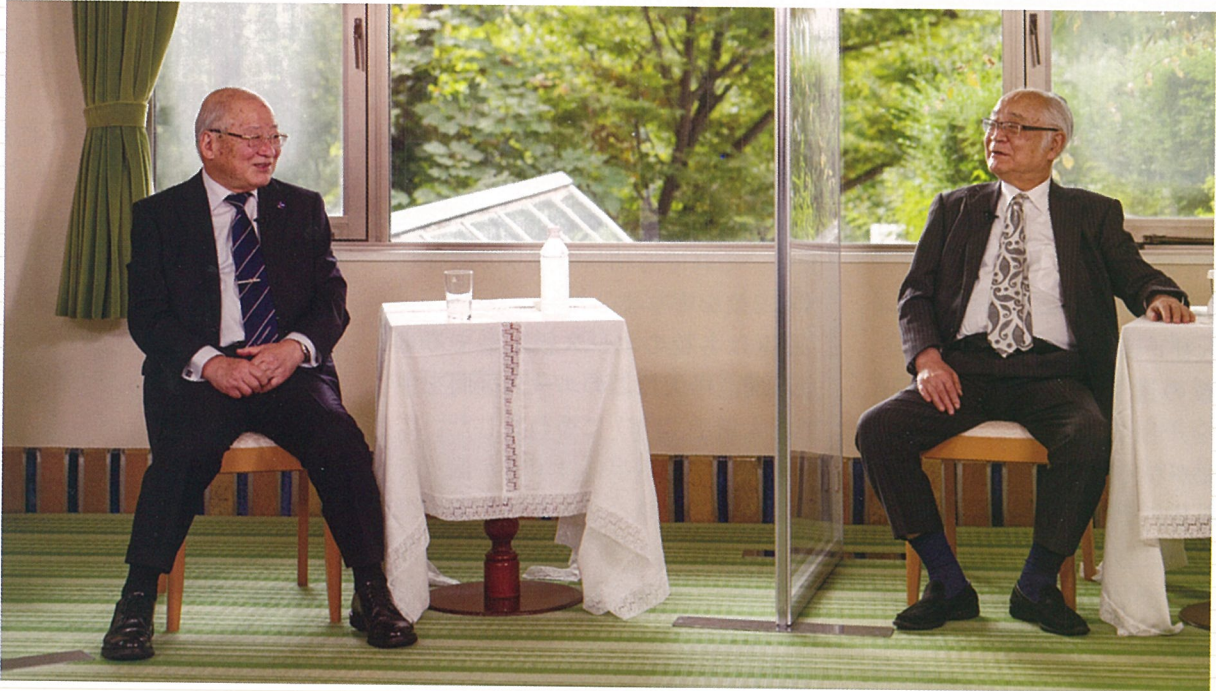
目玉企画

1

特別対談

北野 大 明治大学校友会会長
久野修慈 中央大学学員会会長

一緒に神田を 元気に



目玉企画

2

卒業50周年 企画 「島崎藤村生誕 150周年」! 『惜別の歌』が中大生の心震わせた時代

『惜別の歌』が誕生した当時を
様々な視点から振り返ります。

卒業50周年を 迎えて

47白門会支部長

安井 賢光



我々47白門会は、本年4月、卒業50周年を迎えました。ぜひ、記念事業を実施しようということで、総会記念パーティー、50周年記念旅行、50周年記念会報の発行の実施を決めました。まずは総会記念パーティーですが、いつものホテルからは、コロナの関係で、パーティー利用はさせていないと断られ、一ツ橋ビルの隣にあるビルの中華料理店で開催できました。会費も半額補助

ということで実施いたしました。先ずは盛会裏に終わり、出だし好調というところです。

次の事業は、記念旅行ということで、10月23日(日)～24日(月)の日程で、静岡県の寸又峡温泉に行きました。9月の台風15号の影響で、一部コースの変更等もありましたが、総勢25名の参加でした。奥大井湖上駅の散策や、金谷の旧東海道の石畳の散策など、老体にはかなり応えるところもありましたが、これも無事終了いたしました。コロナがまだ収束していない中ではありますが、3年ぶりにこれらの事業を実施できたことは、大収穫だと思っております。後は、記念広報の発行であります。是非ご覧いただきたく思いますが、まず大丈夫ではなかろうかと

思っております。小生の原稿がまだ仕上がっていないのは気がかりではありますが。

さて、来たる11月27日(日)は、中央大学ホームカミングデーですが、今年もオンラインでの開催ということになりました。本来ですと、卒業50周年の我々昭和47年卒の学員は、大学に招待されて、パーティーを楽しめる場所がありますが、それがなくなったことは残念でした。その代わりと言う訳ではありませんが、オンラインでの卒業50周年企画が組まれました。我々、学生時代はもとより、卒業後もこれまで、歌いつないできた「惜別の歌」特集であります。是非ご覧いただきたく思います。



1区神門通りを走る各校選手たち

出雲駅伝応援に参加!

9年ぶりの出場で3位!

駅伝シーズンの初頭を飾る

2022年10月10日、出雲全日本大学選抜駅伝が島根県出雲大社正面鳥居前をスタート地点とし、出雲ドーム前をゴールとする6区間45.1キロのコースで行われました。

中央大学は9年ぶりの出場にもかかわらず、3位に入るなど健闘し沿道を沸かせました。

学会会としては地域支部の島根支部が中心となり、近隣の学員を動員して大応援団を結成、盛大な拍手で選手を応援しました。年次支部協議会も、駅伝応援に定評のある白門48会支部の7人が東京から出向き、地元の学員と一緒に声援を送りました。

■箱根を再現! 吉居大和選手1区で飛び出し!

出雲大社正面大鳥居前をスタートした各校の選手たちは下り坂の神門通りを一団となって駆け下ります。勾配がなくなるあたりに商工会議所があり、その前に中大応援団が陣取っていました。各校の応援団も校名幟を立てて応援していましたが、その数においては中大がはるかに凌駕しています。

この時点ですでに先頭に立っていた中大の吉居大和選手(3年)は、この大応援団を見てちょっとびっくりしたような顔を向けましたが、意を決したようにさらに一足、他校より前へと飛び出しました。

今年(2022年)正月の箱根駅伝でも1区を任された吉居大和選手は果敢に飛び出し、後続集団を置き去りにして区間賞、区間新記録も樹立しました。その走りを再現するようなこの日の走りも快調で、2位以下の選手たちはなかなか追いつけません。終盤少し詰められましたが、中継地点前でギアチェンジ、ラストスパートで区間記録まであと2秒に迫る快走で襷をつなぎました。

■期待の選手が 期待どおりの走りで2位争い!

2区にトップでつないだ中大は、4年生の千守倫央選手が追って来る駒大のスーパールーキー佐藤選手を迎え撃ちましたが、かわされて首位

交代。それでも粘りの走りで離されずに2位を守りました。

3区は各校のエース級が集まる重点区間。中大はこのエース区間を中野翔太選手(3年)に委ねました。広島出身の中野選手には家族が揃って応援に来ており、それに答えて中野選手も駒大・田沢選手、青学・近藤選手の両エースに食らいつき、懸命の走りを見せました。

4区の阿部陽樹選手(2年)も隣の山口県出身で、準地元ランナー。箱根駅伝でも5区山登りを走っただけあって、強い向かい風をものともせず、我慢強い走りで3位を死守しました。

5区は1年生の溜池一太選手。洛南高校の同級生でライバルの駒大・佐藤選手に負けじと期待どおりの走りで、國學院・平林選手と壮絶な2位争い。最後は一步先んじて、2位でアンカーにバトンタッチしました。

■来年のシード権を確定させる 3位でフィニッシュ!

最終6区のアンカーは吉居駿恭選手(1年)。吉居大和選手の弟として注目されますが、藤原監督がアンカーを託すほどの逸材です。襷を受けると國學院・伊地知選手と並んで、かなり距離が空いた首位駒大を追走します。

再び戻って来た出雲大社正面大鳥居横の「勢溜」では、応援していた48会の白い揃いのジャンパーに気づ



6区勢溜付近で競う吉居駿恭選手(右)

き中大魂に火がついたか、エンジン再点火。伊地知選手より一步前へ出て神門通りを駆け下って行きました。

その後、ゴールの出雲ドームが見え出すあたりから、徐々に離されてしまいましたが、追い上げてくる青学大をかわし3位でゴール。来年の出場権をこの段階で確保しました。

こうした選手の頑張りで、大学駅伝シーズンの初頭である出雲駅伝を3位という好位置でスタートした中大駅伝チームは、この後続く全日本大学駅伝対校選手権大会(通称「伊勢駅伝」)や関係者やファンが本命視する東京箱根間往復大学駅伝競走(「箱根駅伝」)への期待を膨らませてくれました。

久々の沿道応援が認められ、大学の幟や旗の掲出が許可されたレースでしたが、まだまだ制約は多く、大声での声援や、明らかにそれと分かる大学名を記した横断幕を掲げての応援は自粛せざるを得ませんでした。

この後の駅伝レースでも節度ある態度で、母校をはじめ競い合う他校の選手たちも応援していきましょう。

(白門48会支部長 榎本 真一)

年次支部協議会の新役員に
 なったお二人を紹介します。
 広報部：鬼頭淳子さん(1984年卒)と
 学生後援部：吉田彩さん(2007年卒)
 です。

ZOOMが開く新しい一歩

広報部 鬼頭 淳子



瀬戸内海フェリー

「是非みんなで香川県に観光に行こう！」とコロナ終息後の約束をしました。

2020年度に入り、コロナの終息は、まだ見えませんが、リアルな行事はできなくても活動記録は埋まってきました。ハイブリットな方法も考えつつ、今は無事ZOOMの1年契約を認めてもらいました。

コロナの生活は嫌でしたが、この会も様々な可能性を見つけました。多くは定年を迎えたおじさん・おばさん達ですが、まだまだこれから新しい1歩を踏み出して行けそうです。

新型コロナのパンデミックにより、2020年1月の新年会以降、現在までリアルに集まる活動が出来なくなっていました。

2020年度に入って私達白門1984会(59年卒)は、しばらくお休みになると皆が思っていました。しかしパンデミックは短期間で終わるわけもなく、猛威を振るっておりました。その中でも、地域での研修がZOOMというもので始まりました。これは使えると思った私は、様々な場でZOOMを活用しないかと持ちかけました。私たちの支部では、肯定的な人、不安げな人、様々居りました。支部長・幹事長をその気にさせ、実施してみることにしました。自宅でみんなの顔を見るだけでも、当時は安心したものでした。そのうち無料では不足、有料契約に移行。1年契約は月払いより安いと知った

私は早々年払いを要求。しかし、そんなに必要？と最初は却下。

徐々に役員会だけではなく一般会員を巻き込んで、ZOOM飲み会実施。自宅からできるので、遠方からの参加もあり、交通費がかからず、お手軽参加。ある時、香川県在住小豆島勤務の会員より写真と映像を送って来てもらい、みんなで高松・小豆島観光(ZOOM上で)をしました。コロナで籠っている状態での旅気分。



小豆島の24の瞳像

OGの一人としてキャリア支援

学生後援部 吉田 彩

2007年経済学部国際経済学科卒業の吉田彩と申します。今年から、学生後援部のメンバーとして活動させていただきます。

学生後援部は、学生のキャリア支援として、キャリアセンターにご協力をいただきながら年に数回ほどセミナーを行っています。

私も2018年からOBOGの1人としてキャリアセミナーでの登壇をさせていただいており、ここ最近では一新会の方々にもメンバーに加わっていただき、幅広い年齢層のOBOGの声が届くセミナーになってきています。

OBOGによるキャリアセミナー

は「学生が一步踏み出す後押しをする」をテーマに会の設計をすることが多く、毎回、それぞれのOBOGに質問できる時間も必ず取るようにしています。私も学生時代、中央大学のOBOGの方に就活のこと、社会に出てからの様々な経験について話をしてもらう機会が何度かありましたが、同窓というのは面白いもので、影響を受けたり、勇気づけられたりする力が他と比べて何倍も大きなものであるということを実感していました。私自身、決して自慢できるような半生で

吉田 彩

2007年卒業
 経済学部 国際経済学科
 株式会社 ヌーラボ



2007年 インターネットサービス業入社 複数のサービス立ち上げに参画(営業、ディレクター)
 2012年 出産後、時短にて復帰
 2015年 女性のキャリア支援事業企業へ転職、法人営業、採用コンサルなど
 2021年 人事として採用、制度設計などに従事

はありませんが、それも含め、中央大学の学生さんのOBOGの1人として、これまでの経験をお伝えすることや、相談に乗ることで何かしら一歩踏み出してもらえたら、という思いで関わらせていただいています。

当分はオンラインでの実施が続くようですが、コロナ禍前の多摩キャンパスでの対面セミナーも、いずれ復活できたら良いなと思っています。

お知らせのページ

大学・学員交流部報告

講師一龍齋貞奈さんの二つ目昇進を祝う会が、6月5日に年次支部協議会主催で開催されました(参加者26名)

若手女性落語家の林家つる子さんに続く活躍が期待されます。

とざい、と〜ざい〜！平成21年卒、講師の一龍齋貞奈でございます。

今年の4月に「二つ目」に昇進いたしました。多くの先輩方にお祝い頂きありがとうございます。

十数年前、たまたま日本の伝統話芸である講談と出会い「私にもできそうじゃ〜ん」という浅はかな考えで講談の世界へ。それまで日本史など勉強したこともなく、「新選組と赤穂浪士は同じもの」、「明智光秀は関ヶ原の合戦で三日天下を取った」という歴史音痴の上、学生時代から愛嬌だけで生きてきた人間なので、

縦社会での振舞い方などさっぱり。

そんな私でしたから、師匠の靴下をポイっと投げたり、地方の仕事では先輩を差しおいて先にビジネスホテルの朝食を食べてしまったりと、とにかくしくじりが多いこと。「いい年をしてなんて世間知らずなの!？」と叱られたり、陰口を叩かれたりすること数多。

しかし私は「別にそんなミスで人が死ぬわけでもあるまいし、次から気を付ければいいじゃない」と凶たく生きて参りました。その甲斐があつてか、近頃は「二つ目に上がって、高座も自由に生き生きとしてき



一龍齋貞奈

たね」とお褒め頂けることも増えて参りました。

これもひとえに、温かく応援して下さる中大OBの皆様のおかげです。最近では「移植支援講談」や、すしざんまいの木村社長の「海賊退治物語」など、新作にどんどん挑戦しております。今後ともどうぞよろしく御願い申し上げます！

学生の活躍(スポーツ)

- 陸上競技駅伝部長距離ブロック：共にシード権獲得
出雲大学駅伝3位(4ページ参照)、
全日本大学駅伝7位(速報)
- バレー部：関東大学リーグ戦秋季リーグ優勝、
全勝同士対決で早稲田に勝利!!
- 準硬式野球部：東都大学準硬式野球秋季リーグ戦
(6季連続68回目のリーグ戦優勝達成)
- ハンドボール部：関東大学秋季リーグ戦3連覇、
インカレ日本一2連覇達成
- 水泳部：池本風沙選手(法2)が日本学生選手権水泳競技大会
女子200m自由形で初優勝
- 女子陸上競技部：日本学生陸上競技対抗選手権大会女子混成で初優勝
- 射撃部、自転車競技部、弓道部、女子卓球部
ほかにも多数のチームの優勝あり



全日本大学駅伝8区
アンカー・阿部選手(2年)

OBOGの活躍

- プロ野球ドラフト指名：
阪神1位 森下翔太選手
ヤクルト5位 北村恵吾選手
- ボート世界選手権2022(9/18～
25チェコで開催)男子軽量級ダブル
スカルに宮浦真之選手(2019年
文卒、現NTT東日本)が出場
- 2022バレーボール男子世界選手
権(4年に1度の世界強豪24チー
ムが参戦)石川祐希(2018年卒)
関田誠大選手(2016年卒)が出場
- 陸上競技部長距離ブロックにトヨタ
自動車の大石港与選手がプレイ
ングコーチとして就任

《年次支部ニュース 第17号》 2022年11月20日発行

発行者／中央大学学員会年次支部協議会
発行人／清野 強
編集／年次支部協議会広報部

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-3 一ツ橋ビル4階
TEL 03-6261-1615
印刷所／(株)ディスカバリー